

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋文化学園保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育専門課程	保育科第1部	夜・通信	84単位	6単位	
	保育科第2部	夜・通信	70単位	6単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/curriculum/classlist/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/curriculum/classlist/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋文化学園保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ ( <a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/</a> )
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前愛知県議会議員	2015.10.29 ～ 2019.10.28	学校運営への助言
非常勤	愛知県議会議員	2015.10.29 ～ 2019.10.28	学校運営への助言
非常勤	会社役員	2015.10.29 ～ 2019.10.28	学校運営への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋文化学園保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスを冊子で作成。</p> <p>幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた内容にて、科目ごとに、開講時期、授業形態、単位数、担当教員、実務経験の有無、到達目標、授業のながれ、学習の留意点、成績評価の方法、教科書及び参考資料についてを記載。年度初めのオリエンテーションにて配布。</p> <p>ホームページ (<a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/curriculum/classlist/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/curriculum/classlist/</a>) にて公表。</p>	
授業計画の公表方法	冊子・ホームページ ( <a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/curriculum/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/curriculum/</a> )
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに示した成績評価の方法(筆記試験、レポート提出、実技試験)により、各科目担当者が評価したものを、年度末の進級判定会議及び卒業認定会議において審議し、履修認定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  成績を三段階(A・B・C・D)にて評価し、「A=3、B=2、C=1、D=0」として平均点を算出し、成績表に記載している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学生要覧にて配布</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  課程修了の認定は、学則第7条[本校の教育課程は、別表1のとおりとする。なお、教育専門課程保育科第1部幼稚園保育士コースは、学校教育法施行規則第183条の2第2項に規程する単位制の学科とする。2 幼稚園教諭二種免許状を得ようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に規定する科目の単位数を修得しなければならない。3 保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行規則第6条の2の規程により厚生労働大臣の定める修業科目の単位数を修得しなければならない。]に定める所定の単位を修得した者について基準を定め、卒業認定会議において審議のうえ、課程修了の認定を行っている。(第13条) 校長は、第13条の規定により課程修了の認定を受けた者に卒業証書を授与する。(第15条)  尚、学則は「学生要覧」に記載し、オリエンテーションにて配布。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生要覧にて配布</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋文化学園保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ ( <a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/</a> )で公開
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告（書）	〃

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

第1部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育福祉		教育専門課程	保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	92単位	43単位	53単位	12単位	1単位	
			109単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
300人		178人	0人	11人	37人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 幼稚園教諭2種及び保育士資格の両資格を文部科学省、厚生労働省から指定された教科目を2年間もしくは3年間にバランス良く配置し修得する。選択科目は、学生の希望に応じて選択できるよう幅広く開講している。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価基準：80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDとし、C以上を合格とする。 評価方法：試験結果、平素の学習態度、レポート及び作品等によって行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業：幼稚園教諭2種及び保育士資格取得要件を満たした者 進級：当該年度に修得すべき科目数の8割以上を修得し、学習意欲のある者
学修支援等
（概要） 器楽、声楽において、修得状況に応じ、個人レッスンを実施。 授業に関する学生の質問には、授業外でも丁寧に応じている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
72人 (100%)	0人 (0%)	64人 (88.9%)	8人 (11.1%)
(主な就職、業界等) 幼稚園、保育園、認定こども園、児童福祉施設			
(就職指導内容) 卒業までの間に15回程度、就職ガイダンスを実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 幼稚園教諭2種免許状、保育士資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
188人	7人	3.7%
(中途退学の主な理由) 身内の介護、心身の不調、進路変更、妊娠		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任を中心に面談等を行い、相談の場を設けている。		

## 第2部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育福祉		教育専門課程	保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	90単位	36単位	53単位	12単位	単位	1単位
			102単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		25人	0人	6人	24人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 幼稚園教諭2種及び保育士資格の両資格を文部科学省、厚生労働省から指定された教科目を2年間もしくは3年間にバランス良く配置し修得する。選択科目は、学生の希望に応じて選択できるよう幅広く開講している。

成績評価の基準・方法
(概要) 評価基準：80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をDとし、C以上を合格とする。 評価方法：試験結果、平素の学習態度、レポート及び作品等によって行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業：幼稚園教諭2種及び保育士資格取得要件を満たした者 進級：当該年度に修得すべき科目数の8割以上を修得し、学習意欲のある者
学修支援等
(概要) 器楽、声楽において、修得状況に応じ、個人レッスンを実施。 授業に関する学生の質問には、授業外でも丁寧に応じている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	9人 (75%)	3人 (25%)
(主な就職、業界等) 幼稚園、保育園、認定こども園、児童福祉施設			
(就職指導内容) 卒業までの間に10回程度、就職ガイダンスを実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) 幼稚園教諭2種免許状、保育士資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	2人	6.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、妊娠		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任を中心に連絡を取り、相談の場を設けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保育科 第1部	300,000 円	650,000 円	250,000 円	
保育科 第1部 長期履修	90,000 円	500,000 円	170,000 円	
保育科 第2部	240,000 円	450,000 円	170,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓生奨学金 (入学年度 100,000 円支給)</li> <li>・指定校奨学金 (入学金 第1部・第2部 100,000 円減免 長期 90,000 円減免)</li> <li>・名古屋文化学園奨学金 (前期 100,000 円、後期 100,000 円支給)</li> </ul>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス ( <a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/</a> )		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校で作成した自己評価を学校関係者に配布し意見をもらい、まとめる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋市私立幼稚園協会	2016. 4. 1～2020. 3. 31	業界団体
名古屋民間保育園連盟	2016. 4. 1～2020. 3. 31	業界団体
春日井音楽院	2016. 4. 1～2020. 3. 31	他校または他の教育機関 兼務の本校非常勤講師
中部学院大学短期大学部	2016. 4. 1～2020. 3. 31	他校または他の教育機関 兼務の本校非常勤講師
社会福祉法人 清涼会	2018. 4. 1～2022. 3. 31	卒業生
幅下幼稚園	2018. 4. 1～2022. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス ( <a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/about/</a> )		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス ( <a href="https://www.nbunka.ac.jp/nb1/school/">https://www.nbunka.ac.jp/nb1/school/</a> ) 入学案内、入学募集要項、各種広報雑誌
---



